

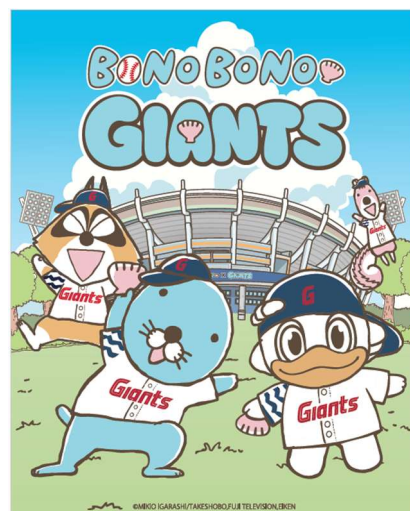
ロッテワールドが韓国国内でライセンス展開する『ぼのぼの』の40周年を記念しロッテ・ジャイアンツとのコラボレーションを実施

- ▶ 日本発、韓国でも人気の漫画『ぼのぼの』（作：いがらしみきお／竹書房刊）が、2026年7月21日（火）から26日（日）まで、プロ野球チーム「ロッテ・ジャイアンツ」とコラボレーション
- ▶ ユニフォームやキャップなどのコラボグッズを発売、原作者のいがらしみきお氏による始球式も実施

ロッテワールド（本社：韓国ソウル市、CEO：Kwon Ohsang（キョン・オーシャン））は、韓国国内でライセンス事業を展開するグローバル人気キャラクター『ぼのぼの』の漫画連載40周年を記念して、プロ野球チーム「ロッテ・ジャイアンツ」とのコラボレーションを実施いたします。2026年7月21日（火）から26日（日）まで、釜山（プサン）の社稷（サジク）野球場にて、ファンの皆さまにお楽しみいただけるさまざまなイベントやコンテンツを展開いたします。

イベント期間中、社稷野球場は『ぼのぼの』をテーマにした空間演出やコラボコンテンツで彩られます。広場には高さ約 10 メートルの巨大な「ぼのぼののバルーン」やフォトゾーンが設置されるほか、ジャイアンツショップではユニフォームやキャップ、応援グッズ（チャッチャギ）、バッグ、タンブラー、ぬいぐるみキーリングなど、多彩なコラボグッズを販売いたします。

7月26日（日）の「ぼのぼの日（ぼのぼのデー）」には、観客の皆さま全員に「ぼのぼのコラボキャップ」をプレゼントいたします。試合前には、ロッテ・ジャイアンツのユニフォームを着用した『ぼのぼの』のキャラクターたちがファンとの写真撮影会を行うほか、原作者のいがらしみきお氏を招聘した特別始球式も実施します。応援団も『ぼのぼの』コラボユニフォームを着用し、応援ステージを盛り上げます。



試合中には、電光掲示板に映る『ぼのぼの』のキャラクターの動きを真似する「まねっこしてみよう」をはじめ、さまざまな観客参加型イベントを実施します。また、『ぼのぼの』がデザインされた紙のチケットやスペシャルフォトカード、限定フォトブースなど、球場でのみ楽しめる特別なコンテンツもご用意しています。

このほか、コラボ期間中にジャイアンツショップ内には、各種『ぼのぼの』のキーリングが手に入るカプセルトイ形式の「ランダムトイショップ」を設置します。また、これに先駆け、7月16日（木）からはロッテ・ジャイアンツとコラボした「ぼのぼのオンライン絵文字」も公開します。

ロッテワールドは、2024年5月より、『ぼのぼの』の韓国国内ライセンスーとして、さまざまなイベントを展開してきました。2024年9月にロッテワールドモールで開催されたポップアップストアは約6万人の来場者を記録し、続く2025年1月のザ・現代ソウル（The Hyundai Seoul）での2回目のポップアップストアでは、一日平均約5千人の来場者が訪れるなど大きな反響を呼びました。ロッテワールドは、今後もコンテンツ IP を活用し、さまざまな分野へ事業を拡大してまいります。

■ ロッテワールドについて

ロッテワールドはテーマパーク、アクアリウム、展望台、ウォーターパークなど、観光・レジャー産業からデジタルコンテンツ領域まで含むオン・オフラインのテーマエンターテインメント分野をリードする企業です。1989年に開館した韓国初の屋内テーマパークである「ロッテワールドアドベンチャー」は老若男女を問わず韓国を代表するテーマパークとして愛されており、これを基盤に2014年には「ロッテウォーターパーク」と「ロッテワールドアクアリウム」を、2017年にはロッテワールドタワー展望台「ソウルスカイ」をオープンし運営しています。また、2022年にオープンした「ロッテワールドアドベンチャー釜山」と2023年「ロッテワールドアクアリウムハノイ」まで韓国内外で積極的に事業を拡大して、世界中に愛されるグローバルエンターテインメント企業のビジョンを実現しています。さらに、キャラクターIPを活用した乳幼児向けのオンラインコンテンツの開発やオンラインプラットフォームへの進出など、デジタル分野にも領域を広げ、皆さまに幸せな経験を提供するさまざまな新規事業を推進しています。

■ ロッテ・ジャイアンツについて

ロッテ・ジャイアンツは1982年の韓国プロ野球発足時に参入した釜山地域を本拠地とするプロ野球団です。1984年と1992年の二度の韓国シリーズ優勝を達成し、リーグ初の100万人動員、単一シーズン歴代最多観客動員などの記録を保有する、長い歴史と伝統ある球団です。競技力向上のための優秀な選手やコーチングスタッフの登用はもちろん、データと科学に基づいた育成システムの構築にも力を入れています。これからもファンサービスの拡大や観客の皆さまのための利便性向上、地域社会に向けた社会的責任と継続的な投資を通じて、韓国のプロ野球を盛り上げる最も影響力のある球団を目指します。